

CAMPUS TOPICS

運動部特集

Dream Big.



剣道部全国大会出場!



特別企画

大学から始める部活動



YOUは何しに海外へ?



わたしたちの平湯祭



CAMPUS TOPICS Vol.69
キャンパストピックスVol.69 2024総集号 2025年3月24日(月)発行

Dream Big.
飛び出せ、未知のフィールドへ。

発行/関東学院大学 学生生活課
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 発行人:高橋 健太郎
取材・編集・デザイン/東洋フリアテック株式会社

関東キャンパスの お弁当販売

横浜・関内キャンパスには、3,000人を超える学生がいます。
食堂はありませんが、キャンパス内では毎日大学が実施するお弁当販売や、
定期的にゼミ活動による関内の飲食店と企画したお弁当の販売などを実施しております。
関内キャンパスに通う学生はもちろん、関内キャンパスに足を運んだ学生もぜひご利用ください!

〈お弁当販売会場〉7階 〈販売時間 月～金〉 11:00～13:00
※都合により変更の場合があります。

【販売店舗情報】

ランチ亭

とにかくお弁当の量が多いのが特徴です。
日によってメニューが変わりますが、弁当
(¥400～500)、のり弁(¥220)で販売し
ています。のり弁は、とてもボリュームが多
いうえに唐揚げやコロッケもついていてコ
スパ最高です! そのほかカレー、牛丼、オム
ライスなどお腹を満たすメニューをご用意
しておりますので是非ご利用ください!!



250にこまる食堂

一般財団法人「若者自立就労支援協会」が中心
となって運営している食堂です。関内キャンパスで
も販売していただいております。
こちらも日替わりでメニューが変わりますが、低価
格でボリュームのあるテリヤキチキン丼や、からあ
げ丼、ソースカツ丼などのワンコインで購入できる
丼物が中心です。人気のため毎回完売してしまう
ので、販売会場で見つけたときが買い時です!



お弁当販売に加え、4月から
「おにぎり」の販売も開始
しますのでお楽しみに☆



ご協力ありがとうございました

この冊子を作成するにあたり、撮影取材させていただいたク
ラブ・サークルの学生の皆様、ご協力ありがとうございました。
また、学内でのスナップ撮影に快く応じてくださった学生の皆
様、寒空の下ご協力いただいたいきありがとうございます。

出場大会・開催日時等、詳しい情報はWEBサイトをご覧ください

<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/> 関東学院大学

検索

Dream Big. 飛び出せ、未知のフィールドへ。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。



2024年度は関東学院大学にとって、そして学生の皆さんにとって、どんな1年だったでしょうか。スポーツや文化芸術の分野で活躍したクラブ・サークルを中心に1年を総まとめ！キャンパス内での突撃スナップ取材では、学生の本音も聞き出しちゃいます。

CONTENTS

- 03 【運動部特集】 Dream Big. 飛び出せ、未知のフィールドへ。
- 14 大学から始める部活動
- 18 学生メンターたち
- 20 YOUは何しに海外へ？
- 22 わたしたちの第75回平潟祭
- 24 KANTO GAKUIN REAL SNAP 2024
- 26 チャレンジ奨学生
- 28 学長賞&功労賞発表！
- 30 地域貢献・国際ボランティア
- 31 安否確認システム・学生生活課公式LINE・迷惑行為・SNS・違法薬物・マルチ商法・飲酒・防災



充実したキャンパスライフを！

学生生活部長 高橋 健太郎

学生の皆さんは、この一年どんなことを頑張ったでしょうか？何か一つでも熱中したことはありましたか？充実したキャンパスライフが過ごせましたか？特に今年の4年生はコロナ禍で高校時代を過ごし、部活動の大会やコンクールだけでなく、学校行事においても中止や縮小と制限を強いられてきた世代だと思います。今となっては懐かしい言葉ですが、「ソーシャルディスタンス」、「三密」などという言葉も流行りました。しかし、コロナ禍という未曾有の状況を高校時代から経験したことで、柔軟な対応力、オンライン環境への適応力、逆境を乗り越える精神力が身につけている世代とも言えます。制約の多い中でも工夫しながら青春を楽しみ、進路を切り拓いてきた世代として、社会に出ても大きな力を発揮するでしょう。

さて、昨夏にはフランス・パリで夏季オリンピック・パラリンピックが開催されました。環境に配慮した「持続可能な大会」を掲げ、セーヌ川での開会式はとても印象深いものでした。また、新競技や若手選手の活躍が話題になりました。関東学院大学の関係者としては、OBである富澤慎選手がウィンドサーフィン競技にて5大会連続の出場を果たし、同じく

OBの福士萌起選手が7人制ラグビーに出場しました。今年度も卒業生の活躍だけでなく現役生においても、多くのクラブやサークルの学生たちが活躍してくれました。大学内に掲示がされているように、ラグビー部は今年も関東大学リーグ戦1部残留、サッカー部からは今年もJリーグのチームへ3名の選手を輩出しています。本誌においても体育系・文科系問わず、たくさんのサークルから面白い話題を提供していただきました。また、平潟祭や創造祭・スポーツフェスティバルでも多くの学生の活躍を見聞きしています。

最後に、2025年度も大学施設を使用したリーグ戦や大会などが予定されています。是非とも応援に足を運んでみてください。普段見られない学友の頑張りを身近に感じる機会になると思います。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

新しい挑戦が未来を切り拓く。

大学の部活動では、未知のフィールドに飛び出し、自分たちの可能性を広げようとする選手たちの姿があります。

今年はそれぞれが抱く大きな夢と、その実現に向けて進む挑戦の軌跡を取材しました。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

剣道部 男子



全国大会ベスト16達成！後輩へ託す想い

剣道部男子は2024年度、「全国ベスト8進出」を目標に掲げ、挑戦を続けました。主将の増田さんは「目標達成のためにチームの団結力を高めていかなければならないし、自分自身も強くなければいけない」と決意し、副主将の久我さんと共に、練習後のチームメイトと意見交換を重ね、全員が目標を共有できる環境を整えました。増田さんは主将としての役割と自分の稽古で大変に感じる日々もありましたが、副主将の久我さんの前向きな考え方に救われることもあり。また久我さんは、増田さんの責任感のある姿勢のおかげでチームメイトとして安心できたとお互い良い関係が築いていたことが伺えました。

そうして臨んだ全日本学生剣道優勝大会では、ベスト16という

結果を残すことができました。粘り強い戦いで難敵にも果敢に挑戦し、最後まで諦めない姿勢を貫きました。「ベスト8にもう一步届かなかった悔しさはありますが、全員で戦い抜いたことが財産です」と増田さん。一方、久我さんは「諦めない姿勢が後輩たちに引き継がれるはず」とチームの成長を語ります。

卒業を控えた増田さんは「来年はぜひ全国大会でベスト16を越えてほしい」と後輩たちにエールを送りました。「下級生が多いチームでしたが、一緒に経験したことが力になるはず。まず全員で全国大会に出場し、そこからさらに上を目指してほしい」と未来への期待を寄せています。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

剣道部 女子



仲間と共に掴んだ成長と全国への挑戦

2024年度、剣道部女子が掲げた目標は「全日本ベスト4進出」。昨年のベスト8を超えるため、鈴木主将を中心に目標に向かって挑戦を続けました。全国大会への出場を最低ラインとし、春季県大会では団体戦優勝、秋季県大会の個人戦でも1位から3位までを独占するなど、確かな成長を見せました。「関東大会や全国大会では悔しい結果もありましたが、確実に力をつけた1年だった」と振り返ります。

関東大会ではベスト8、全国大会ではベスト16という結果を残しました。特に宮崎副主将が印象に残ったと語るのは、関東大会のベスト4をかけた接戦。「筑波大学との試合で、自分たちの力がついてきたと実感できた」と話します。一方、鈴木主将にとって忘れられないのは、同大会初戦で中高時代の同期と対戦した試合。「絶対に勝たなければ全国に行けない状況でした。勝てて嬉しかった一方で、もう同

期と試合をすることはないと感じると少し寂しさもありました」と語ります。

今年、新たに取り入れたのは、男女合同の稽古と試合形式を取り入れた練習方法です。「男子との稽古でスピードやパワーのある攻めに慣れ、試合での対応力が広がりました」と鈴木主将は語ります。また、部活動全体でも風通しの良さが特徴で、先輩後輩関係なく意見を交換し合える環境が築かれています。「他大学の選手からも仲の良さを羨ましがられるほど」と宮崎副主将が笑顔で話す通り、温かいチームの雰囲気選手たちを支えています。

来年に向けて、鈴木主将は「悔しさをバネに、さらに上を目指してほしい」と後輩たちにエールを送ります。目標に向けて挑戦を続ける剣道部の新たな活躍に期待が寄せられます。

Dream Big

楽しく剣道生活を
続けたい

卒業後は一般企業に入学し、同社の実業団チームで剣道を続けていく予定です。今後も剣道の大会に引き続き挑戦はしていきますが、同時に楽しむことも忘れず体力の続く限り剣道生活を送りたいです。

Q 剣道で学んだ大切なことは？

仲間との支え合いです。自分が困った時に助けられる心強さや、お互いを高め合う大切さを学びました。

教育学部 こども発達学科 4年

久我 涼介さん

経済学部 経済学科 4年

増田 宇櫻さん



Dream Big

警察官になって
さらに強い選手に

警察官の剣道大会に出場してさらに強い選手になりたいです。まずはレギュラーになって試合に出ることが目標です。さらにレベルの高い選手たちと戦いながら、どう活躍できるかを考えていきたいと思っています。

Q 試合で印象に残った思い出は？

県大会の決勝リーグで大将として負けた試合です。その時、久我さんが「次があるから切り替えて！」とチームを鼓舞してくれて救われました。

Dream Big

剣道から教員への挑戦

将来は地元福岡に戻って、小学校の先生になりたいです。さらに、親の面倒を見ながら妹たちと暮らすのも夢。親には好き勝手やらせてもらった分、最後は福岡で恩返しのできれば良いなと思っています。

Q 最近ハマっていることは？

恋愛リアリティショーを見るのにハマってます！直近では「あいの里」を見てます。リアルな感情が見られるのが好きで、出演者の表情や心情を想像しながら見るのが癒しの時間になっています。

教育学部 こども発達学科 4年

宮崎 優楽さん

人間共生学部 共生デザイン学科 4年

鈴木 光さん



Dream Big

新たな舞台で力を磨く

就職後も剣道を続けます。実業団の剣道部に所属して、全日本の舞台で活躍することが目標です。先輩方の胸を借りながら力をつけ、また1から挑戦します。いつか先輩方と並んで戦える日を目指して頑張りたいです！

Q 試合前のルーティーンは？

緊張はしない方なんですけど、試合当日は必ず鏡の前で「お前今日も頑張れよ」と自分に声をかけます。それで腹をくくるというか、最後に気持ちを整えてから試合に臨むようにしています。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

サッカー部



バンラーレ八戸
内定選手

経済学部 経済学科 4年
土井 紅貴さん



©VANRAURE

泥臭く、ひたむきに。 プロの世界へ挑む

関東学院大学サッカー部でミッドフィルダーとして活躍した土井選手が、ヴァンラーレ八戸への加入を決めました。サッカー漬けの日々を送ってきた土井選手は、「ここからが本当の勝負」と気を引き締めます。

大学1年からトップチームに帯同し、公式戦にも多く出場。しかし2年時の監督交代を機にポジションが変更となり、一時的に出場機会が減少しました。さらに3年時には腎臓の負傷で長期離脱を経験。「サッカーができることの有り難みを痛感した」と語ります。それでも最後の1年は関東一部リーグで奮闘し、プロへの内定を獲得。

今後は、「自分の強みである守備力を活かし、チームの昇格に貢献したい」とのこと。大学で培った戦術理解と泥臭いプレーを武器に、新たなステージへ挑戦します。

Dream Big.

海外リーグで輝く未来へ

幼い頃から憧れていたのはメッシやネイマール。最終的な夢は、ヨーロッパの五大リーグ(スペイン、ドイツ、イングランド、フランス、イタリア)でプレーすること。そのために、J2、J1と着実にステップアップし、実力をつけていきたいです。

Q 自分を動物に例えるなら?

シベリアンハスキーです。高校時代から「見た目が似ている」と言われてきました。キリッとした雰囲気や走る姿が、チームメイトの間でも話題になります(笑)。

堅実な守備で プロの世界に挑戦

サッカー部の守備の要、佐藤選手が奈良クラブに加入しました。小学3年生でサッカーを始め、高校時代にプロへの夢を抱くように。大学ではセンターバックに専念し、守備の駆け引きやボールの動かし方を徹底的に学びました。

「大学では、守備の細かい部分を学べたことが大きかった」と振り返ります。3年時にはチームを関東一部リーグへ昇格させるも、4年時には降格を経験。「勝つために何が必要かを考え続けた」と語ります。

奈良クラブのスカウトの目に留まり、練習参加を経てプロの舞台へ。「決まった瞬間は本当に嬉しかった」。すでにキャンプを終え、Jリーグ開幕に向けて準備を進めています。「攻守両面で存在感を示したい」。佐藤選手の挑戦が始まります。

Dream Big.

攻守に貢献し、
プロの舞台で輝く

守備の選手ですが、攻撃でもチームに貢献できるようになりたいです。後ろからしっかり組み立てて、攻撃の起点となるプレーを増やしたいですね。プロの舞台で経験を積みながら、自分の強みを伸ばしていきます。

Q 一度は決めてみたいプレーは?

センターバックの位置から超ロングシュートを決めることです。相手GKが前に出ている瞬間を見逃さず、正確なシュートでゴールを狙ってみたいですね。

奈良クラブ
内定選手

経済学部 経済学科 4年
佐藤 大翔さん



©NARACLUB

見事プロ入りを果たした選手たちにインタビュー!!

監督インタビュー



奈良 安剛 監督
横浜F・マリノス所属

大学サッカーの新たな価値 ～奈良監督が語る関東学院の挑戦～

関東学院大学サッカー部の奈良監督は、選手たちの成長と挑戦を支える指導者。「大学サッカーはプロを目指すための貴重な時間。環境に左右されず、自分の力で道を切り開く選手を育てたい」と熱く語ります。

本校の強みは、Jリーグ・横浜F・マリノスとの提携による高度なトレーニング環境。「プロの世界を身近に感じられる環境があり、トップ選手と切磋琢磨できるのは大きな魅力」と監督は評価します。

今後のビジョンについては「タイトル獲得や日本代表選出など、関東学院の名を全国に轟かせたい」と意欲を見せました。「選手の成長が第一。どんどん上のレベルへ挑戦してほしい」と語ります。監督の熱意は、選手たちの背中を押し、さらに大きな夢へと導いていきます。

モンテディオ山形
内定選手

経済学部 経済学科 4年
堀金 峻明さん



©MONTEDIO YAMAGATA

プロの舞台で 新たな挑戦の幕開け

関東学院大学サッカー部のエースストライカー、堀金選手がモンテディオ山形への加入を果たしました。幼少期に兄の影響でサッカーを始め、高校でフォワードとしての適性を見出し、大学ではさらなる成長を遂げました。

「がむしゃらなプレーだったけど、大学では戦術やフォワードの動き方を学び、プレーの幅が広がりました」と振り返ります。堀金選手の強みは、卓越した身体能力を生かしたジャンプ力とスピードです。昨年のリーグ戦では、得点とアシストの両面でチームを牽引し、プロのスカウトの目に留まりました。

すでにキャンプにも参加しており、「プロのレベルの高さを実感していますが、大学時代の経験が活かせる場面もあります」と手応えを語ります。

Dream Big.

毎年ゴールを量産する
ストライカーへ

プロの世界に飛び込み、まずは試合に出続けることを目指します。そして、いずれはリーグを代表するストライカーになり、海外にも挑戦したいです。常に成長を続ける選手でありたいと考えています。

Q 最近ハマっていることは?

キャンプ中にスイッチのゲームをすることで。特に、チームメイトと遊ぶパーティーゲームが好きです。みんなで盛り上がることで、練習の疲れも吹き飛び、より良い雰囲気でも過ごしています。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

ラグビー部

経済学部 経済学科 1年

星 遥大さん



国際舞台への挑戦と 大学リーグ戦の奮闘

2024年度、関東学院大学ラグビー部は「チーム全員が主体性を持ち、一人ひとりが責任を果たす」ことを目標に掲げ、新たな挑戦に臨みました。その一環として、部内のコミュニケーションを重視し、試合中の即時フィードバックを徹底。プレーごとに選手同士で改善点を話し合い、試合の流れの中でより的確な判断ができるよう工夫を重ねました。また、1年生から4年生までの垣根を越えた意見交換が活発になり、部内の雰囲気もより風通しの良いものになったといいます。

星選手は大学1年生ながら7人制ラグビー(セブンス)の日本代表学生選抜に選出され、フランスでの国際大会に挑みました。南アフリカやフランスといった強豪国との対戦を通じて、スピードやフィジカルの重要性を再認識。「まだまだ自分は通用しないと痛感した」と星選手は振り返ります。一方、大学チームとしては一部リーグ残留を果たすなど、今後の成長に向けた基盤を築く一年となりました。

来シーズンに向けて、星選手は「フィジカルの強化とともに、新たなポジションへの挑戦を考えている」と意気込みを語ります。これまで務めてきたフルバックに加え、ゲームメイクを担う司令塔・スタンドオフ(10番)への挑戦も視野に入れており、プレーの幅を広げることでさらなる成長を目指します。



Dream Big.

セブンスでオリンピックに出場する

大舞台オリンピックに出場したいです。大学時代にセブンスをやりながら部活動の15人制でも実力をつけ、多くのことを吸収して、海外の選手に勝つとも劣らない強い選手になれるよう頑張ります。

Q フルバックの魅力は?

自由度の高さと責任感が魅力です。どのプレーにも関われるポジションなので、自分のスキルを最大限に活かします。最後尾として守備の要でもあるので、プレッシャーとやりがいもあります。

Q 7人制と15人制の違いは?

7人制は運動量が格段に増えます。特にスピードと個人技が求められる点が大きな違いですね。15人制はチーム全体の組織的な動きが重要で、戦術やフィジカルの強さが勝敗を左右します。

Q 今後、強化したい部分は?

フィジカルの強化が最優先です。海外の選手と戦ったときに体の当たりの強さやスピードの差を感じたので、もっと鍛えていきたいです。ゲームメイクの視点を養うことも大切だと思っています。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

ウィンドサーフィン部

経済学部 経済学科 3年

齋藤 菜太さん



初心者から トップを目指す

2024年、関東学院大学ウィンドサーフィン部は、組織力の強化をテーマに掲げた一年でした。その中心にいたのが、新たに主将となった齋藤さんです。「チームとしてのまとまりを高めるため、練習計画を見直し、日々のトレーニング内容を可視化することに取り組みました」と話します。部員同士で日々の練習内容を共有することで、互いに刺激を受けながら成長できる環境を作ることに成功しました。

個人としても、齋藤さんはさらなる飛躍を目指しました。全日本学生選手権(インカレ)出場を目標に掲げましたが、関東支部予選ではわずか6つの順位差で本戦出場を逃す悔しい結果に。「初日は風が弱く、自分の体重的に厳しいコンディションだったこと、そして2日目は『巻き返さなければ』というプレッシャーに飲まれてしまったことが敗因でした」と振り返ります。しかし、この経験を糧に、レース展開の読み方や風を活かす技術をさらに磨く決意を固めました。

「2025年は、さらに組織力を高めながら、全国大会での上位進出を目指します」と齋藤さんは意気込みを語ります。個人としても、日々の研究を重ね、戦略的なレース運びを意識して取り組んでいるとのこと。ウィンドサーフィンは初心者からでも挑戦できる競技ですが、勝負の世界は厳しく、試合では経験と戦略が問われます。それでも「風を切る爽快感と、自然を相手にするスリルがこの競技の最大の魅力」と齋藤さん。2025年の飛躍に向け、彼らの挑戦は続いています。



Dream Big.

全国大会に出場し、 強豪校に勝つ

現在は京都大学と明治大学が強豪校で、我々の最大の壁となっています。団体戦も個人戦も彼らを圧倒するレースをしたいです。

Q ウィンドサーフィンの魅力は何ですか?

最大の魅力は、風を切って進む爽快感です。体感スピードは約100kmにも感じられるほど!自然と向き合い、自分の力を信じて進む感覚は、他のスポーツでは得られない特別な体験です。

Q 勝つために必要なスキルは?

風を読む力と状況判断がとても重要です。風上には進めないため、どの角度で走るか、どこでターンするかが重要です。大人数のレースでは、周囲の選手の動きを読み、最適なルートを選ぶ戦略も必要です。

Q 初心者でも始められる?

ウィンドサーフィン部のほとんどのメンバーが大学から始めています。特に大学で新しいことに挑戦したいと人にはぴったり。技術は練習次第で向上するので、未経験でも全国を目指せるチャンスがあります。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

陸上競技部



箱根駅伝を目指す熱き戦い。 個人の実力を高め、いざチームで挑む。

2024年、陸上競技部は挑戦と課題の一年となりました。箱根駅伝の予選会では30位に終わり、目標としていた「10位以内の本選出場」を果たせず、悔しい結果に。キャプテンの佐々木さんは「チームとしても個人としても納得のいく走りではなく、順位も悔しい思いが残る」と振り返ります。

一方で、個人の成果は輝きを見せました。佐々木さんは11月の1万メートルで29分台を記録し、来年度の関東インカレ・ハーフマソンの標準記録を突破。「常連校や予選会の主力選手と戦える力をつけ、2025年の箱根予選会で本選出場を果たす」と力強く語り

ます。副キャプテンの緒方さんも、3000m障害において関東インカレで準優勝、学生個人選手権で2位、さらに日本インカレで8位入賞という素晴らしい結果を残しました。「怪我を経験したことで、計画的にトレーニングする重要性を学び、成果に繋がった」と話す緒方さんの努力が、確かな実績に結びついています。

新体制となった陸上部は、2025年の箱根駅伝予選会に向け、全員で力を合わせて日々トレーニングに励んでいます。「箱根駅伝本選出場」という夢を掲げ、彼らの挑戦が次のシーズンでどのように結実するのか、期待が膨らみます。

Dream Big.

箱根駅伝本選出場

2025年度の箱根予選では10位以内をチームの目標に掲げ、箱根駅伝本選出場を目指します。また、チームを盛り上げるためにも、自分がトップ成績で走ることを目標にしています。

Q 練習で最も意識していることは？

練習では、心拍を高めるためにジョグのスピードを上げ、強度の高い練習を意識しています。また、怪我を防ぐため無理をし過ぎないように注意しつつ、追い込むことも心がけています。

社会学部 現代社会学科 2年
佐々木 敦弘 さん



法学部 地域創生学科 3年
緒方 快 さん



Dream Big.

ワールドユニバーシティゲームズ 出場

学生オリンピックとも呼ばれるワールドユニバーシティゲームズに日本代表として出場することを目指しています。そのため、次の学生個人選手権大会で必ず優勝し、出場の切符を掴み取りたいです。

Q 怪我をしたときの乗り越え方は？

補強トレーニングを徹底して、怪我からの復帰を計画的に行うことが大切です。辛い経験でも成長につながると信じています。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

男子バスケットボール部

国際文化学部 英語文化学科 4年

前川 啓泰 さん



復活！ 3部優勝から2部昇格

2024年、男子バスケットボール部は、リーグ戦で21勝1敗と圧倒的な強さを見せ、3部優勝を達成しました。さらに入れ替え戦で2連勝し、来年度の2部昇格を決めました。昨年は3部降格という悔しい結果に終わり、インカレ出場も叶いませんでしたが、キャプテンの前川さんを中心にチームは前を向き続けました。「昨年の悔しさを晴らしたい一心で、仲間とともに全力を尽くしました」と語る前川さんは、怪我を抱えながらもキャプテンとしてチームを支え、士気を高めました。来年度の目標は2部での上位進出と、念願の1部昇格。今後のチームの活躍を願いながら、前川さんは後輩にバトンを託します。

Dream Big.

故郷沖縄から広げる夢

私は卒業したら沖縄に帰ります。これまでの経験を活かし、自分が育った地で未来を担う選手を育てたいです。挑戦を続けることの大切さを伝え、次世代を全国大会やプロの舞台へ導きたいです。



Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

女子バスケットボール部 ポジティブが生んだ輝き、 挑戦の2024年

2024年度、女子バスケットボール部は「トーナメント1部昇格」と「新人インカレ出場」を目標に掲げました。その達成に向け、チームは「ポジティブ・アクティブ・クリエイティブ」を軸とした新しいコンセプトを採用し、意見を出し合える環境を整備。キャプテンの大向選手は「個々の力を結集し、チーム力を高めることを意識しました」と語ります。

秋のリーグ戦では2部Bグループで2位を獲得。2部Aとの入れ替え戦に挑むも惜敗しましたが、山藤選手のスリーポイントが光るなど歴代最高成績を達成。「次世代に貴重な経験を残せた」と大向選手は振り返ります。「意見を尊重する風通しの良さが強み」と語る後輩たちがさらなる飛躍を目指しています。



Dream Big.

笑顔あふれる栄養士に

病院栄養士として働き、患者さんに寄り添いながら元気を与える存在になりたいです。笑顔をやさず、患者さんと楽しく話せる環境づくりに挑戦したいです。(大向選手)

世界で輝く自分になる

世界へ挑戦し、自分から発信できる存在になりたいです。どんな形でも応援される人であり続けることを目標にし、海外でも活躍の場を広げていきたいと考えています。(山藤選手)

栄養学部 管理栄養学科 4年
大向 佳夏 さん



国際文化学部 比較文化学科 4年
山藤 未由 さん

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

空手道部



空手道部の挑戦—— 一部昇格と全日本への軌跡

2024年度、空手道部は「全日本出場」と「男子一部昇格」を目標に掲げました。新たな監督の指導のもと、練習メニューの工夫や部員同士の意見交換を重視した練習を実施。男子部の主将である福島選手は「自分たちで試合を想定し、練習の目的を明確にすることを心掛けました」と語ります。一方、女子部の主将の後藤選手も「女子は少人数だからこそ、男子との練習が試合での体格差を埋めるためのカギとなりました」と振り返ります。

男子部は春の関東団体戦で2部2位となり、来年度からの1部昇格を決定。女子部はベスト16に入り、4年ぶりに全日本団体戦への出場を果たしました。後藤選手は「最後の試合では2人だけで団体戦

を戦いました。チームメイトを信じて挑めたことが忘れられません」と語ります。また、男子個人では2年の高橋選手が全日本へ進出するなど、部全体で躍進が見られた一年でした。

空手道部では、新たな監督との信頼関係が練習環境の改革を後押ししました。後藤選手は「監督の助言を基盤にしつつ、部員同士で意見を出し合いながら取り組みました。この土台が後輩たちにとって大きな支えになるはず」と次世代への期待を語ります。福島主将も「16年続けてきた空手の集大成として、多くの仲間と挑戦できたことが何よりの財産です」と感慨深げに語りました。

Dream Big.

誇れる自分を目指して

いろいろなことに挑戦し、20年後や30年後に自分が胸を張って誇れる自分になりたいです。そのために、現状に満足せず、もっと上を目指して挑戦を続けることを大切にしています。

Q 試合前のルーティーンは？

全身を叩いて緊張をほぐし、アドレナリンを高めます。痛みを感じることで試合中に変な力が入らず集中できるんです。特に顔や足を軽く叩くのは、4年間欠かさず続けたルーティーンです。

法学部 法学科 4年
福島 颯太 さん

国際文化学部
英語文化学科 4年
後藤 萌生 さん



Dream Big.

多様性で世界に羽ばたく

就職先では、日本人という枠にとらわれない視野の広い存在を目指しています。当たり前を当たり前で終わらせず、多様性を活かして世界中で活躍できる人になりたいです。

Q 最近一番嬉しかったことは？

教育実習で受け持った生徒たちから色紙や写真もらったことです。その後の文化祭で再会した時、「メイ先生!」と喜んでくれた姿が忘れられません。短い期間でも絆を感じられたのが本当に嬉しかったです。

Dream Big.

飛び出せ、未知のフィールドへ。

アメリカンフットボール部

人間共生学部 共生デザイン学科 4年
大場 礼哉 さん



チームの絆で掴んだ挑戦と 未来への意志

2024年度、アメリカンフットボール部が掲げた目標は「1部昇格」。約10年前から2部に所属し、何度もその扉を叩いてきたものの、今年も惜しくも達成には至りませんでした。それでも、大場選手は「実力は十分にあったが、自滅で潰れてしまった」と悔しさを滲ませながらも、「不可能ではないという手応えがある。来年こそ達成できるはず」と語ります。

シーズンでは2部のBブロックで8チーム中5位という結果となったものの、春季のオープン戦では1部1位のチームに勝利を収めるなど、確かな実力を示しました。特に印象的だったのは2部リーグで2位のチームに勝利した試合です。オフェンス、ディフェンス、キッキングが完璧に噛み合い、「自分たちのアメフト」が展開できた試合でした。チーム全体で掴み取った勝利は、部員たちに大きな自信をもたらしました。

今年から導入した新たな練習メニューは「試合を想定した毎日の実戦形式」が特徴的でした。この取り組みにより、シーズン中の試合運びにも変化が見られ、後半戦でのパフォーマンス向上につながりました。また、部室では和やかな空気が流れ、縦横問わずリスペクトを持って意見を交わし合う雰囲気が築かれていました。この風通しの良さが、肉体的にも精神的にも過酷なアメフトを支える力となっています。

「今年の経験を活かし、来年は必ず1部昇格を達成してくれると信じています」と語る大場選手。下級生たちへの厚い信頼とエールが送られ、新しい挑戦が始まります。この一年の成果が、未来への力となることを期待しています。



Dream Big.

Xリーグで優勝を目指す!

アメフトにはプロリーグはないんですけど、社会人リーグのXリーグが実質のプロみたいな感じです。卒業後はそのXリーグで活躍して、いつか自分の力でチームを優勝に導きたいですね!

Q 試合前のルーティーンは？

一人でイメージトレーニング。自分が活躍して敵を圧倒することを思い浮かべると、強い相手でも怖くなくなります。その通りにいかないことも多いけど、やる気も落ち着きも全然違います!

Q 大学4年間で一番の思い出は？

今年復活した合宿ですね。久々にやったらかなりきつくて、でも写真とか見ると本当に楽しかったなって思います。合宿後は、チームの雰囲気が一気に良くなったのも嬉しかったです。

Q 最近ハマっている音楽は？

試合前は必ずヒップホップを聴きます! Kendrick Lamarはよく聞くけど、特にお気に入り「Like That」です。チームで盛り上がる時はスピーカーでガンガン流してテンション上げます。

\\ 初心者さんでも入部しやすい! //

大学から始める部活動



「大学から始めても…」と思う方も多いと思いますが、誌面で紹介した方々は皆さん大学から始めた初心者さんです。今回の記事を参考に自分に合う部活動を見つけましょう!

硬式庭球部

個人の成長と仲間の絆で輝く! 硬式庭球部の挑戦



—2024年の成果と新たな挑戦

2024年、硬式庭球部は部員が少ないながらも充実した活動を展開しました。男子はリーグ戦の昇格を目指して挑戦し、数多くの試合を経験しました。一方、女子は部員数の少なさを克服し、5部リーグでの優勝を果たして4部へ昇格。「少人数でも全員が一丸となって結果を残せたのは嬉しい」と堂後主将が語るように、部員たちは互いに支え合いながら力を発揮しました。試合経験を積むことが、部員全員にとって大きな成長の場となっています。

—初心者でも安心して参加できる環境

硬式庭球部のもう一つの魅力は、初心者でも安心してスタートできる点です。「自分も初心者から始めましたが、先輩が親身に教えてくれたおかげで早く上達しました」と小澤主将は振り返ります。基本練習を重視し、個人のペースに合わせたサポートが徹底されています。初心者でも安心して参加できるような雰囲気大切にしていることが、多くの部員の声からも伝わってきます。

—部活動で得られるもの

硬式庭球部の活動は、競技技術の向上だけでなく、仲間との絆や自己成長の場でもあります。「個人競技の勝利は、自分の努力が形となる喜びがある」と小澤主将。「一方で、団体戦は仲間の応援や一体感がとても楽しい」と語るのは堂後主将です。部員たちは部活動を通じて、勝利の達成感や仲間との深い絆を得るとともに、試合の厳しさから体力やメンタル面も鍛えられたといえます。

—未来の部員たちへ

部員たちは、新たな仲間を心から歓迎します。「テニスが楽しいから、ぜひ挑戦してほしい」「入部後は全力でサポートします」と、初心者や経験者を問わず多くの学生に向けてメッセージが寄せられました。部員同士が支え合い、競技を楽しむ硬式庭球部は、大学生活を充実させる最高の場所です。これからの新たな挑戦に向けて、部員たちの思いは次世代へと受け継がれていきます。



Dream Big

インカレ出場を目指して 全力で挑む

関東大会に進み、全勝してインカレへの切符をつかむことが目標です。努力を重ね、後輩たちの模範となり、チームの未来へつなげたいと思います。

理工学部
理工学科 3年
小澤 柊斗さん



Dream Big

執念で勝利をつかむ!

大学入学時から目標にしていたインカレ出場。勝利への執念を胸に、諦めず戦い続け、チームとともに最高の結果を残したいと思っています。

理工学部
理工学科 3年
堂後 みや美さん

ラクロス部 男女

誰もが主役になれる! チーム皆で白星をつかむ!



—2024年、成長と課題を胸に

2024年のラクロス部は困難に立ち向かいながらも前進を続けました。男子は部員数の不足に苦しみ、試合出場そのものが厳しい状況もありましたが、「一人ひとりが全力を尽くして、試合に挑んだ年でした」と藤高主将は振り返ります。リーグ戦では惜しくも全敗という結果に終わったものの、敗戦を通して個々の技術向上とチームとしての結束が強まりました。一方、女子部は引き分け試合を含む惜敗が続く中、確実なチーム力の向上を感じた一年となりました。「最後の一步を乗り越える力をつけることが来年の目標です」と提督主将は語ります。

—全員が同じスタートラインで

ラクロス部は、ほとんどの選手が大学から競技を始めるため、未経験者でも気軽に挑戦できる環境が整っています。「運動経験のない人や、マネージャーだった人も選手として活躍しています」と提督主将。男子部も「チームの雰囲気明るく、一体感があります。少人数だからこそ、自然と仲間意識が強まります」と藤高主将が語るように、ラクロス部の魅力は仲間との深い絆です。練習後の談笑や試合後の振り返りは、日々の成長を感じる瞬間でもあります。

—未来への挑戦と夢

女子部は「4部リーグから3部昇格」を目標に掲げ、全勝を目指した戦いを誓います。男子部は「リーグ内トップ12入り」を目指し、個々のスキルアップとチーム全体の底力向上に励みます。「大学で新しい競技に挑戦し、努力次第で未来を変えられるラクロスは、自分にとって新たな道を切り開いた存在です」と藤高主将は語ります。新たな夢を胸に、ラクロス部は次なる挑戦へ歩みを進めています。



経営学部
経営学科 3年
提督 茉優さん



Dream Big

チーム全員がベスト12に入る

試合で活躍した選手は、チーム表彰とは別に「ベスト12」という個人賞をいただくことができます。チームメイトが各ポジションで素晴らしいプレーをすることで、個人も認められる選手を目指したいです。

経済学部
経済学科 3年
藤高 幹久さん

Dream Big

リーグ戦で全勝、3部昇格へ

リーグ内でライバル校と互角に戦える強さになってきたと実感しています。次のステップとして、確実に勝てる強さと、さらに上のランクにいけるように練習も試合も全力で取り組んでいきたいです。



吹奏楽部

憧れのステージに立って
みんなで達成感を味わおう!



—日々の練習から定期演奏会まで鋭意活動中

吹奏楽部は毎週水曜日と土曜日に活動しており、主に夏と冬の年2回の演奏会に向けて、音楽監督やコーチの指導のもと、日々練習を行っています。演奏会の他にも、学園祭での演奏や、新入生への歓迎コンサート、硬式野球部の応援などに参加。毎年夏には合宿もあり、精力的な活動が行われています。現在の部員数は19名で、1年生と2年生のみの構成です。「先輩方が引退されてすごく減ってしまって」と話すのは部長の伊藤さん。

「特に打楽器をやれる方、やりたい方大募集です!」と熱いメッセージを送ります。

—音楽好きが集まる和気あいあいとした部

「音楽が好きの人が集まっているので、学年の壁も低く和気あいあいとした雰囲気」と話すのは副部長の杉山さん。部員間のコミュニケーションが活発で、中学高校と吹奏楽を経験している人もそうでない人も、先輩後輩関係なく教え合うことで、音楽好き同士、仲が良くなる人が多いそうです。「初心者でも音楽が好きって気持ちさえあれば私たちが教えます」と杉山さん。なかでも打楽器やトランペットを、初めてでも比較的取り組みやすい楽器として挙げてくれました。



教育学部 こども発達学科 2年
伊藤 恋葉さん

Dream Big

より良い部活をめざし行動していきたい

以前は悩みを一人で背負い込みがちでしたが、今は周りの部員たちに助けをもらいながら、吹奏楽部をより良くする活動をしています。引退の時「伊藤さんが部長で良かった」と思ってもらえるのが目標です。

—コンサートで演奏する楽しさが一番の魅力

伊藤さん、杉山さんともに「部の活動の中で一番魅力的なのが定期演奏会」と声を揃えます。かつてのコロナ禍では難しかった観客の前で演奏できる喜びや、ステージが成功した時の達成感を全員で味わうことができ、部活と学業の両立を乗り越え頑張ってきて良かったという実感できるそうです。そんな自分たちの演奏を届ける楽しさを体験できる吹奏楽部は、いま広く部員を大募集中とのこと。少人数の楽器編成だけに、やりたい楽器に挑戦できるのも大きなチャンスです。ぜひこの春、吹奏楽部で憧れのステージに立って演奏してみませんか?

Dream Big

演奏技術を磨いてさらにレベルアップを

中学高校と憧れていたアルトサックスに大学で挑戦しました。上手な後輩にも負けないよう演奏技術を磨いて、演奏会で聴いた人に「上手い」と思ってもらえるようなレベルを目指したいです。



経済学部
経済学科 2年
杉山 万葉さん

映画研究部

映画部2024年の挑戦!
初心者でも気軽に楽しめる活動



—新たなスタートラインで

2024年、映画研究部が新たなスタートを切りました。再興される形で始まったこの部活は、映画鑑賞や意見交換を中心とした活動を通じて、部員たちが互いに感性を広げ、教養を深める場を提供します。「月に2~3回、学内での映画上映や意見交換会を行う予定です。話題作があれば映画館での鑑賞会も計画しています」と話すのは、部長の高波さん。初期段階では、部費も発生せず、自由参加型の運営を目指しています。特に関内キャンパスで完結する活動は、移動の負担が少ないため学生にとって魅力的です。

—初心者でも安心のアットホームな雰囲気

現在、部員数は11名。「映画が好きなのもいれば、最近興味を持ち始めた人もいます」と高波さんは語ります。初心者でも安心して参加できるよう、意見交換や感想をシェアする時間を重視しており、厳しいルールや制約は設けていません。「自由に参加できるからこそ、新しい発見があると思います」と山下さんは言います。例えば、普段触れることのないジャンルの映画を観ることで、新しい視点や興味を見つける部員も多いそうです。



法学部 法学科 3年
高波 未来さん

Dream Big

関内の文化活動をもっと自由に

関内に文化系の部活やサークルがもっと根付くようにしたいです。今回の映画部の創設が、その一歩になればと思っています。将来は、関内がさらに活気づくことを夢見ています。

—活動の展望と新メンバーへのメッセージ

将来的には、映画制作部門も視野に入れているとのこと。「参加者の中で映画制作に興味を持つ人が増えれば、制作活動も始めてみたい」と高波さんは語ります。まずは、学内での活動を通じて部員同士が交流し、新しい部活動の形を模索していく予定です。初心者の方も大歓迎とのこと、「一緒に映画を見て、新しい世界を探しに行きませんか?」と、これから参加を考慮する学生へメッセージが送られました。映画部は、学内唯一の映画鑑賞活動を行う部活として、学年や専攻を問わず部員を募集しています。この春、ぜひ映画部で新たな体験を始めてみませんか?



Dream Big

趣味の幅を広げて、より豊かな人生を

10年後、自分の新しい趣味を1つ増やしていきたいです。この部活がそのきっかけになれば嬉しいです。映画鑑賞やカメラ撮影から始めて、料理や他の趣味も広げていきたいと思っています。

人間共生学部
コミュニケーション学科 3年
山下 怜大さん



学生支援室を舞台に活躍する 学生メンターたち



学生支援室を拠点に活動する学生メンターたちは、
新入生の履修相談やイベント企画を通じて、学生生活をサポートし、豊かにしています。
それぞれが独自の視点と目標を持ち、多様な活動を展開する姿は、キャンパスに新しい風を吹き込みます。
未来に向けた挑戦と支え合いのストーリーをぜひご覧ください。

室の木キャンパス

看護学部 看護学科 3年
飯田 優さん

Dream Big.

看護師として誰かの力になりたい
メンター活動で学んだ「相手に寄り添い、
支え合う力」を活かし、患者さんに安心を
届けられる看護師を目指します。

支える力と楽しさを学んだ学生メンターの日々

学生メンターとして、新入生の履修相談やイベント運営を通じてサポート
しています。履修相談では、不安を抱える新入生に寄り添い、適切なアド
バイスを心がけています。また、一人暮らしやアルバイトの悩みにも耳を傾
け、安心して大学生活を始められるよう努めています。特に印象的だった
のは、自分が対応できない相談を仲間がフォローしてくれた瞬間。チーム
の力を実感しました。クリスマスイベントでは企画運営を担当し、学生たち
が笑顔で楽しむ姿にやりがいを感じました。この経験を通じて、企画力や
対人スキルを磨きました。将来は看護師として、患者さん一人ひとりに寄
り添い、適切なサポートができるよう、この学びを活かしていきたいです。



関内キャンパス

経営学部 経営学科 2年
加藤 梨夏さん

Dream Big.

誰かのために行動できる人に
自分の行動が誰かを助け、支えられるような
人になりたい。そのために、考えるだけでなく、
まずは行動することを大切にしています。

行動することで見える新たな世界

私は学生メンターとして、新入生の履修相談やイベント企画を行って
います。もともと人前で話すことが苦手でしたが、企画運営を通じて自分
の意見を発信し、仲間と協力する力を身につけました。特に印象的だった
のは、メンター同士の交流会を企画したことです。普段関わることの少な
いメンバーとも積極的に交流し、イベントを成功させる喜びを感じまし
た。メンター活動では、計画性や実行力が重要だと学びました。今後は、
自分の行動が誰かの助けになるような存在を目指し、積極的にチャレン
ジしていきたいです。



金沢八景キャンパス

理工学部 理工学科 3年
夏目 莉来さん

Dream Big.

楽しい今を全力で生きる
メンター活動や趣味のギター・
バイクを通じて、今しかできな
い挑戦を楽しみ、未来に繋がる
経験を積み重ねたいです。

学生支援室から広げる新たな挑戦

学生メンターとして、イベント企画などを担当しています。最近では
「リッツでつながるクリスマスパーティー」を企画し、学生同士の交
流を促進しました。メンターを始めた当初は就活対策が目的では
したが、活動を通じて楽しさを実感。企画リーダーとして目標設定や資
金管理、運営進行など多くの挑戦を経験しました。議題を細分化す
ことで会議の効率を上げるなど、実践的なスキルを磨くことが
できました。今後は関内キャンパスとも連携し、さらに規模の大きな企
画に挑戦したいと考えています。支援室を学生にとって安心できる
場所にするため、楽しいイベントを提案し続けたいです。



関内キャンパス

経営学部 経営学科 2年
渡邊 優希菜さん

Dream Big.

誇れる自分になる
自分が取り組んだことに誇りを持てるよ
う、常に挑戦し続けたい。経験を重ね、自
信を持てる自分を目指します。

憧れの先輩を目指して

私は学生メンターとして、新入生のサポートやイベント企画に携わって
います。大学生活で何かに挑戦したいと思い、堂々と話す先輩メンター
の姿に憧れて活動を始めました。特に印象的だったのは、新入生歓迎イ
ベントの企画です。イベント終了後、新入生同士が仲良くなっている姿を
見て、自分たちの取り組みが学生生活の支えになっていると実感しまし
た。また、メンター活動を通じて、自分の意見を伝える力や協調性が身につ
いたと感じています。今後も積極的に学び、誰かの憧れとなるような存在
を目指したいです。



金沢八景キャンパス

経済学部 経済学科 2年
渡辺 紗来さん

Dream Big.

教員として生徒に寄り添いたい
生徒が自ら考え、成長できるようサポートする教
員を目指します。メンター活動で学んだ寄り添い
方を活かし、信頼される存在になりたいです。

教員を目指してメンター活動で 磨く「寄り添う力」

教員を目指し、学生メンターとして相談対応や企画運営を行っています。
活動の中で、相談者の悩みを引き出し、一緒に解決策を考える力を養い
ました。アルバイトや大学生活、一人暮らしの不安など、幅広い相談に向
き合うことで、相手の気持ちを尊重する大切さを学びました。また、学園
祭の子ども向けワークショップでは139名が参加し、企画成功の喜びを
実感。入念な準備やチームワークの重要性も学びました。将来は、生徒が
自ら考え、決断できる力を育てる教員を目指します。メンター活動で培
った寄り添う力を活かし、生徒にとって信頼できる存在になりたいです。



▲ワークショップで
制作した
キーホルダー



関内キャンパス

人間共生学部 コミュニケーション学科 2年
柳下 哲輝さん

Dream Big.

憧れられる先輩になる
尊敬できるメンターの先輩たちのように、
自分も後輩から憧れられる存在になりた
い。そのために成長を続けていきます。

仲間とともに成長する喜び

私は学生メンターとして、新入生サポートやイベント企画を行って
います。人前で話す力を身につけたいと思い、活動を始めました。印象に残
っているのは、ファッションコンテストの企画運営です。初めは参加者を集
めるのに苦労しましたが、チームで協力し、最終的に多くの学生が楽しめる
イベントにすることができました。メンター活動を通じて、報告・連絡・
相談の大切さや、チームをまとめる力を学びました。これからも仲間と協
力しながら、新しい挑戦を続けていきたいです



YOUは何しに海外へ?



本学では(「交換留学」「派遣留学」「語学派遣留学」「夏期・春期語学研修」)の4つの制度を設けています。日本から海外へ留学、海外から日本へ留学した学生4名に留学の理由や魅力を教えてもらいました。みなさんも興味があれば国際センターに気軽に相談してください!

国際センターよりメッセージ

留学前から万全のサポート体制で応援します!

協定校と連携を取りながらプログラムを進めていくので、海外経験がない学生でも安心して参加できます。

渡航前にオリエンテーションや留学準備講座を実施。留学先大学への手続き、ビザ取得、航空券手配、海外安全管理アシスタンスサービス及び海外旅行保険の加入等のサポートや注意事項等の情報提供を行います。

●長期留学

留学期間(1セメスター/2セメスター)も本学の在学期間としてみなされ、留学先で修得した単位は本学で単位認定されるため、原則4年間で卒業することが可能です。

●短期語学研修

本学の夏期・春期休業期間を利用し、海外の大学で語学を学びながら異文化体験をするプログラムです。各学部の規程に基づき「海外語学演習」科目として2単位が付与されます。

それぞれの目的に合わせて相談に乗ることができますので、留学に少しでも興味がある方はぜひ国際センターまでご相談ください。

日本 + 台湾 (2023年9月~2024年6月)

人と文化の温かさに触れた10か月

交換留学
国際文化学部
比較文化学科 4年
市川 麻衣 さん



Q. 留学先として台湾を選んだ理由は?

第二言語として学んでいた中国語の中に、日本語との漢字の使い方の違いを見つけたことが大きなきっかけです。学ぶ中で中国語の表現の面白さに惹かれ、語学のスキルも徐々に上達しました。また、担当の先生から留学の話をしていただき、本格的に行く決意が固まりました。言語を学ぶだけでなく、文化や人々の生活に直接触れられる魅力的な場所でした。

Q. 留学で得た一番の収穫は?

最も大きな収穫は、言葉だけでなく文化や人々の温かさを深く学べたことです。台湾の友人との交流を通じて、中国語でのコミュニケーション能力が飛躍的に向上しました。また、異文化での挑戦を重ねる中で、物事に対して自発的に取り組む姿勢や、困難を乗り越える力が身につきました。こうした経験が自分の成長に繋がり、帰国後の進路選択にも影響を与えました。

Q. これから留学を考えている学生に一言

もし迷っているなら、ぜひ一歩を踏み出してみてください。私にとって留学は視野を広げるだけでなく、自分自身を見つめ直す貴重な経験となりました。異文化での生活は時に困難もありますが、それ以上に多くの学びと感動が待っています。特に台湾では人々の優しさに支えられ、今も友人とのつながりが続いています。留学は間違いなく、人生を豊かにする選択です。

Dream Big

台湾へ移住して、何か自分の才能を見つけたいです。例えば、手作りのピアスを作ったり、服を作ったりして、そういう小さなビジネスを始めてみたいと思っています。台湾には日本にはないゆったりとした温かさがあり、自分らしく生きられる気がします。



インドネシア + 日本 (2024年8月~12月)

両国の関係に貢献したい

交換留学
グルマブルサグ大学 4年
アニサ サルサピラ さん



Q. 日本での思い出は?

ホストファミリーとの生活や箱根へのスタディツアーなどたくさんの楽しい時間を過ごしました。特によさこいは昔から大好きで、みなとみらいで生のパフォーマンスを見たときは感動しました。関東学院大学では祈りの部屋があり助かりましたが、旅行中は訪問した施設内の一室でお祈りをすることもあり、忘れられない思い出になりました。

Q. 日本語や日本文化で感じたことは?

インドネシアの大学では1年生から日本語を勉強しましたが、漢字は本当に難しかったです。でも、物語のような意味があって面白いので今は好きです。留学前に先生から日本のルールやマナーを教わり、特にゴミの分別や横断歩道のルールには驚きました。インドネシアでは車が止まらないことも多いので、日本のようにちゃんと止まるのは新鮮でした。

Q. 将来はどんな仕事をしたいですか?

将来は旅行会社に働いて、日本とインドネシアの架け橋になりたいです。日本の文化や料理をインドネシアの人たちに紹介したり、インドネシアの良さも日本の人たちにもっと知ってほしいです。そして、両国の関係がもっと良くなるように貢献したいと思っています!

Dream Big

いつか日本でよさこいを踊りたいです。インドネシアでも大学の仲間と一緒に踊っていました。よさこいに限らず、日本文化や料理が大好きなので、これからも日本の魅力を追い求めていきたいです。



日本 + アメリカ (2023年8月~2024年5月)

行動力と自信が身についた

交換留学
経済学部 経済学科 4年
山口 侑哉 さん



Q. 交換留学のメリットは?

留学先の学費が免除されることはとてもありがたかったです。留学中は語学力を伸ばせるのももちろん、現地の学生たちと一緒に授業を受けることで視野も広がりました。留学前に通った国際センターの英語個別指導や、学内の学生支援塾のサポートのおかげもあり、満を持して留学に行くことができて良かったです。

Q. 留学先の授業の雰囲気は?

私はミネソタ州立大学モアヘッド校に留学しました。少人数制のクラスで先生との距離が近く、学生は授業中に積極的に発言していました。英語で経済学を学び、ビジネス単語の習得やグループワーク、発表の機会も多く最初は大変でしたが、現地の学生と課題に取り組むうちに授業に馴染むことができました。

Q. 留学を終えて得たことは何ですか?

留学を通して得たものは、行動力と自信です。慣れない環境の中で、まずはついていくことを目標に、毎日できることを全力で取り組みました。その結果、積極的にコミュニケーションをとれるようになり、TOEICスコアは750点から920点にアップしました。特にリスニング力が伸びたのは、ネイティブの英語に直接触れられたおかげだと思います。

Dream Big

私は地方出身なのですが、地方は都会に比べて情報が入る量が少なく、新しい気づきや選択肢が得にくいと感じています。地方の人々が自分のやりたいことを早い段階で見つけられるよう、将来はそうした環境づくりに貢献していきたいです。



トルコ + 日本 (2019年~2025年3月)

異文化との出会いで得た成長と未来への目標

私費留学
理工学部 理工学科 4年
シーザー ムハメド ハムザ さん



Q. 留学中の経験と印象に残ったことは?

日本の生活で驚いたのは、文化的なルールの徹底です。電車の乗り方ひとつをとっても、降りる人待姿勢に感動しました。また、ボランティア活動を通じてチームワークの重要性を学び、多様な意見を聞き入れる姿勢が身につきました。これは私にとって人生の宝物です。

Q. 将来の目標について教えてください。

卒業後は日本のIT企業で働き、経験を積んでから自分の会社を立ち上げたいと考えています。IT分野は進化が速く、挑戦の連続ですが、それがやりがいでもあります。日本での経験を基盤に、グローバルな視点を持ちながら新しい価値を創り出したいと思っています。

Q. 留学生へのメッセージ

留学を考えている方には、その国の言語を深く学ぶことを強く勧めます。言語を理解することでコミュニケーションが円滑になり、相手の文化や価値観を深く知ることができます。留学は一歩踏み出す勇気が必要ですが、必ず人生を豊かにする経験になります。

Dream Big

バイクに乗ると、心が解放されて、自分を見つめ直せるんです。だからいつか日本一周をしたいと思っています。広島や仙台などには行きましたが、まだ北海道や四国には行けていません。ツーリングで全国を巡り、それぞれの場所の魅力を肌で感じたいですね。





実行委員会

それぞれの企画が、持ち味を発揮して盛り上がった2日間
テーマは「桜梅桃李」

2024年の平潟祭のテーマは「桜梅桃李」でした。このテーマは、個性を尊重し、それぞれが自分らしく輝くことを目指して掲げられたものです。その中でも、特に注目を集めたのがミスコンテスト「KGUコレクション」でした。例年の2倍以上の来場者が集まり、イベントは大成功を収めました。

成功の背景には、ラグビー部をはじめとする部活動の協力によって団体客が増えたことや、SNSを活用した広報活動の効果がありました。今年はいよいよ雨模様でしたが、それでも屋外ステージライブや模擬店、芸能人を招いたトークイベントなど、多彩な企画が目白押しで、多くの人々が足を運びました。

「桜梅桃李」という言葉が象徴するように、それぞれの個性が光る大学祭となり、学生たちが一丸となって作り上げた2日間は熱気に包まれました。



雨にも負けない盛り上がりで大満足!

Q.思い出に残っていることは?
1日は雨で不安でしたが、屋外ライブにお客さんが雨具を着て集まり、大盛り上がりしてくれたのは本当に嬉しかったです。また、トークイベントのゲストを決めるために600票以上の投票から芸能事務所を調べ、許可を取るために奔走したのも忘れられない思い出です。



教育学部 とも発達学科 2年
第76回平潟祭実行委員長
上村 慧さん

信頼できる仲間とともに創り上げた学園祭

Q.平潟祭を振り返った感想は?
私は昨年まで芸能部門に所属していたため、今年初めて全体を統括する実行委員長を務めました。未経験の分野では、副委員長など経験豊富な仲間と連携し、スムーズな運営を目指しました。平潟祭に関わってくれた皆さんのおかげで、実行委員長という大役を果たせました。



理工学部 理工学科 3年
第75回平潟祭実行委員長
鈴木 海斗さん

Q.次期実行委員長としての意気込みを!
来年は「みんなが委員長」という気持ちで、委員全員が主役になる平潟祭を作っていければと思います。私は委員長として、委員会活動が楽しくなるような雰囲気のできるように頑張ります。

Q.次期実行委員長へのアドバイスを!
困ったときは一人で抱え込まず、仲間を頼ってください。私自身、周囲に助けられて様々なことを乗り越えられたので、チームワークの大切さを強く感じています。

《わたしたちの》
第75回 平潟祭
HIRAKATA FESTIVAL 2024
2024年11月2日、3日と2日間にわたり、平潟祭が開催されました。
開催の様子とともに実行委員の方とKGUcollectionグランプリ受賞者の3名にインタビューしました。

KGU collection

大学祭を彩る、笑顔と挑戦の物語

2024年度の「KGU collection」で、池崎花音さんが見事グランプリに輝きました。今年の目標は「昨年の準グランプリからリベンジを果たす」こと。周囲の応援に支えられ、SNSを活用して毎日自身を発信し、得票を積み上げました。

当日はイルミネーション告白シチュエーションやドレス・タキシード姿を披露する形式のイベントで魅力を存分に披露。彼女は「家族や友人の応援が力になり、ミスコンを通じて自分に自信がついた」と語ります。

池崎さんの次なる挑戦は、「芸能活動やSNSを通じてもっと人前に立ちたい」という夢。大学祭を盛り上げた彼女の笑顔が、さらなる挑戦へとつながります。



建築・環境学部
建築・環境学科 3年
池崎 花音さん

KGU collectionに挑戦して本当に良かった!

Q.今年のミスコンで頑張ったことは?
SNSを通じた発信に特に力を入れました。毎日Instagramのストーリーズを投稿し、ファンの方々とコミュニケーションを大切にしました。応援コメントが励みになり、継続する難しさを乗り越える原動力になりました。

Q.グランプリを受賞した瞬間の気持ちは?
驚きと喜びで涙が止まりませんでした。家族や友人の応援が形になり、感謝とともに自分に自信ができました。最後まで挑戦して本当に良かったと心から思える瞬間でした。





山口 颯太さん 建築・環境学部 建築・環境学科 2年
 藪下 侑実さん 社会学部 現代社会学科 2年
 鈴木 陸斗さん 経済学部 経済学科 1年
 木村 優斗さん 経済学部 経済学科 1年
 朝井 晴音さん 社会学部 現代社会学科 4年
 白川 要さん 理工学部 理工学科 2年
 内田 有里菜さん 建築・環境学部 建築・環境学科 3年
 菅原 涼太さん 理工学部 理工学科 3年
 グリフィス 笑麻さん 国際文化学部 比較文化学科 1年
 栃木 惺さん 経済学部 経済学科 1年
 又吉 可奈子さん 国際文化学部 比較文化学科 3年
 成田 滯央さん 理工学部 理工学科 1年



森 喜愛さん 国際文化学部 比較文化学科 3年
 堀川 颯人さん 社会学部 現代社会学科 2年
 久木 凜太郎さん 国際文化学部 英語文化学科 2年
 須田 理華子さん 理工学部 理工学科 4年
 橋本 心粋さん 社会学部 現代社会学科 1年
 齊藤 スコット 育さん 国際文化学部 英語文化学科 1年
 魏 愛理さん 国際文化学部 比較文化学科 3年
 北澤 蓮太さん 国際文化学部 英語文化学科 1年
 若菜 政希さん 国際文化学部 英語文化学科 2年
 小澤 智雪さん 国際文化学部 英語文化学科 2年
 名倉 幸太郎さん 経済学部 経済学科 2年
 小野 藍子さん 社会学部 現代社会学科 4年



宮野 瑛斗さん 経済学部 経済学科 1年
 野家 颯大さん 経済学部 経済学科 1年
 安原 友紀さん 国際文化学部 比較文化学科 3年
 宮原 小太郎さん 経済学部 経済学科 3年
 田中 愛寿寿さん 国際文化学部 比較文化学科 1年
 林 純平さん 国際文化学部 英語文化学科 1年
 矢崎 海拓さん 国際文化学部 英語文化学科 2年
 佐々木 瞭太さん 理工学部 理工学科 1年
 結城 千寿さん 社会学部 現代社会学科 2年
 仲宗根 一斗さん 建築・環境学部 建築・環境学科 2年
 吉野 沙羅さん 国際文化学部 比較文化学科 1年
 大塚 夢空さん 理工学部 理工学科 2年

突撃取材だから、ホンネのリアルスナップ！

「①2024年で頑張ったこと」「②2025年で頑張りたいこと」を聞いてみました。

KGU REAL SNAP 2024



チャレンジ 奨学生

Challenge ①

地域と共に創る「こずみのANNEX」プロジェクト

チーム代表 工学研究科 建築学専攻 2年 飯濱 由樹 | メンバー 18名 | 推薦者 酒谷 粹将(建築・環境学部 准教授)

「ヨコハマ市民まち普請事業」は、横浜市が地域の魅力向上や課題解決を目的として助成・支援を行う取り組みです。その一環として2021年度に採択された「こずみのANNEX」プロジェクトでは、助成金を活用して耐震補強や空間整備を実施。金沢区釜利谷東の住宅街に、地域の新たな交流拠点が誕生しました。

共用スペースは「みんなで宿題やゲーム」「お食事会」など、誰もが気軽に利用できる空間として開放されています。さらに、貸し切り利用が可能で、地域住民が主体となるイベントも多く行われており、本格運営がスタートした2024年度からは利用者が増加しています。

「こずみのANNEX」の特徴は、地域住民と学生が協力して場づくりを進める点です。月に一度開催される「つくるワークショップ」では、空間デザインや活用方法を議論し、実践的に形にしていきます。また、運営委員会主導のイベントも定期的に企画され、地域の方々の参加を通じて新たなつながりが生まれています。例えば、7月に開催された七夕イベントでは、多くの住民が集まり大きな賑わいを見せました。

プロジェクトの活動はメディアでも取り上げられており、その影響で遠方から移住する学生も登場。地域内外から注目される「こずみのANNEX」は、人々の交流やネットワークを広げ、地域全体の活性化を後押ししています。



Challenge ②

科学の力で広がる地域とのつながり

チーム代表 理工学部 理工学科(化学学系) 4年 須田 理華子 | メンバー 26名 | 推薦者 友野 和哲(理工学部 准教授)

学生たちは、科学を通じて地域との交流を深める活動を展開しています。2024年1月には、関東学院六浦子ども園で「ドライアイスで遊ぼう」イベントを開催。園児たちは、シャボン玉やドライアイスを用いた6種類の実験に触れ、科学の面白さを体験しました。また、解説動画をYouTubeで公開することで、イベント後も多くの人が学べるよう工夫されています。

4月には「GOOD OPEN AIRS 2024」にボランティアとして参加し、「火おこし体験」や「ビスマス結晶づくり」などの実験を実施。子どもたちが自然の中で科学の不思議を体験できる場を提供しました。6月と8月には、明星中学校・高等学校および関東学院大学六浦中学校の生徒を招き、大学見学と化学実験教室を実施。次世代の科学者を目指す中高生に、研究施設や実験を通じて科学の楽しさを伝えました。

さらに6月には「ビーチクリーン・潮干狩り体験会」にボランティア参加し、地域住民とともに環境保護活動を実施。潮干狩りの安全管理やビーチクリーン活動を通じて、地域社会への貢献を果たしました。7月には三井アウトレットパークでの「エコ Week」にて科学実験のワークショップを開催。地域の子どもたちと共に科学の魅力を分かち合い、実践的な学びを提供しました。



チャレンジ奨学金は学生による価値のある取り組みを応援する奨学金です。個人やチームでの自主的活動や社会貢献活動などの取り組みについて、高い効果が期待される場合に、その経費の一部を援助してくれるものです。「こんな活動を社会のために取り組みたい」とか「こういう研究を突き詰めて行いたい」など、学生の具体的な取り組みがあれば、応募することができます。



Challenge ③

子どもたちの未来を地域と共に支える取り組み

チーム代表 理工学部 理工学科(化学学系) 4年 村松 隼門 | メンバー 25名 | 推薦者 山平 多恵子(理工学部 准教授)

相模原市福祉協議会や地域プロジェクトの一環として行われている「さがみはら子どもの居場所サミット」は、子どもたちに安心して過ごせる環境を提供することを目的としています。この取り組みでは、地域住民や学生が連携し、子どもたちを支える方法を模索。遊びや学びを通じて子どもたちが地域の一員として成長できる場を築いています。

また、このサミットと共同運営されている子ども食堂「なのはな」は、学生主体で活動を行っている点の特徴です。ここでは、子どもたちが安心して学び、遊び、食事を共にすることで居場所を感じられる環境を提供しています。学生たちは、学習サポートや食事提供を通じて子どもたちと交流を深め、地域全体で子どもたちの成長を見守る仕組みを実践しています。



Challenge ④

子どもたちの未来を育む「子どもアドベンチャーカレッジ」

チーム代表 人間共生学部 共生デザイン学科 4年 園部 朱香 | メンバー 24名 | 推薦者 佐々 牧雄(人間共生学部 教授)

学生たちは地域の活性化と子どもたちへの学びの提供を目指し、多彩な活動を行っています。2022年には大通り公園で「デザイン・アートフェスタ」を開催し、公園をアート作品やデザインで彩りました。このイベントは、地域住民と学生が一体となり、街に新たな交流と活力をもたらす機会となりました。

また、2024年には横浜市が主催する「子どもアドベンチャーカレッジ」にも参加し、小学3年生から6年生を対象にオリジナルカードゲーム作りのプログラムを提供しました。このプログラムは、子どもたちに「主体的・対話的で深い学び」と「社会参加のきっかけ」を与えることを目的とした体験型学習イベントです。夏休み期間を活用し、大学や民間企業、公的機関が連携して多様な体験の場を提供しており、子どもたちは学びの意欲を高める講話や発言力を育むグループディスカッションを通じて、自ら考え行動する力を養っています。



Challenge ⑤

親子で楽しむカップショートケーキづくり

チーム代表 経営学部 経営学科 2年 梨本 結衣 | メンバー 19名 | 推薦者 黒田 尚弘(学部庶務課 課長)

食を通じた学びと交流の場を提供するための取り組みを行っています。5月には、親子イベントを見越して「カップショートケーキの試作会」を実施しました。この試作会では、レシピの共有や手順の確認を通じて準備を進め、よりスムーズに親子イベントを運営できるよう万全の体制を整えました。

その成果を活かしたのが、8月20日に行われた親子対象イベント「親子で楽しむカップショートケーキづくり」です。このイベントは、東京ガスのテストキッチン「厨 BO!YOKOHAMA」を会場に開催されました。親子でケーキ作りを体験しながら、家庭で楽しめる簡単なレシピや調理の工夫を学ぶことができる場として、多くの参加者に喜ばれました。参加した子どもたちからは「また作りたい!」という声が出るなど、食の楽しさと達成感を提供する場となりました。



2024年度 学長賞 & 功労賞 発表!

学長賞は、学術賞(学業成績優秀者及び研究活動優秀者・団体)と精勤賞(課外活動優秀者・団体及び社会活動功労者・団体)に分かれています。学術賞の「学業成績優秀者」は人物・学業ともに優秀と認められた学生に対して贈られます。また、学術賞の「研究活動優秀者・団体」と精勤賞は、研究活動や課外活動、社会活動(ボランティアなど)において、本学の名誉を高揚したと認められる学生と団体が対象となります。

学長賞

学術賞

学業成績優秀者表彰

国際文化学部 英語文化学科 佐野 優翔	理工学部 理工学科機械学系 會田 龍飛
国際文化学部 比較文化学科 市川 麻衣	理工学部 理工学科電気学系 立川 勇輝
社会学部 現代社会学科 中川 晴花	理工学部 理工学科情報学系 高橋 遥
経済学部 経済学科 関 剛良	理工学部 理工学科土木学系 須田 真斗
経営学部 経営学科 後藤 優佳	建築・環境学部 建築・環境学科 大杉 雅
法学部 法学科 小野 統子	人間共生学部 コミュニケーション学科 高橋 砂羽
法学部 地域創生学科 中村 美樹	人間共生学部 共生デザイン学科 今野 あき
理工学部 理工学科生命学系 福田 さら	栄養学部 管理栄養学科 浅田 清香
理工学部 理工学科数物学系 原田 優也	教育学部 こども発達学科 岩元 沙也香
理工学部 理工学科化学学系 佐々木 美知	看護学部 看護学科 石崎 玲奈

精勤賞

体育系課外活動優秀団体表彰

団体表彰

- 準硬式野球部**
- 清瀬杯第56回全日本大学選抜準硬式野球大会 ベスト4
 - 令和6年度神奈川大学準硬式野球連盟 春季リーグ戦 準優勝
 - 令和6年神奈川大学準硬式野球連盟 秋季リーグ戦 優勝

功労賞

体育系課外活動優秀団体表彰

- | | |
|---|--|
| <p>剣道部 男子</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第58回全日本基督教関係大学剣道大会 準優勝 | <p>空手道部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度春季関東学生会定期リーグ戦 女子2部リーグ戦 優勝 |
| <p>剣道部 女子</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第69回春季神奈川県学生剣道選手権大会 優勝 ●第58回全日本基督教関係大学剣道大会 第三位 | |

団体表彰

研究活動優秀団体表彰

- | | |
|---|--|
| <p>奈良堂史ゼミナール 萩原チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第20回神奈川産学チャレンジプログラム 最優秀賞受賞 | <p>福田敦ゼミナール 高浦チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第20回神奈川産学チャレンジプログラム 最優秀賞受賞 |
|---|--|

体育系課外活動優秀者表彰

- | | |
|--|---|
| <p>サッカー部</p> <p>社会学部 現代社会学科 3年 野嶋 圭人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2024年度 U-21 関東大学選抜 選出 ●IBARAKI Next Generation Cup2024 優勝 | <p>空手道部</p> <p>建築・環境学部 建築・環境学科 2年 高橋 健之介</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第51回神奈川県空手道選手権大会 組手 一般男子個人 優勝 |
| <p>国際文化学部 英語文化学科 2年 佐藤 未来也</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2024年度 U-21 関東大学選抜 選出 ●IBARAKI Next Generation Cup2024 優勝 | <p>ウィンドサーフィン部</p> <p>建築・環境学部 建築・環境学科 4年 舟津 成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2024年度全日本学生ボードセーリング選手権大会 8位 |
| <p>国際文化学部 英語文化学科 1年 齋藤 朝陽</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2024年度 U-21 関東大学選抜 選出 ●IBARAKI Next Generation Cup2024 優勝 | |

個人表彰

- 剣道部**
- 国際文化学部 比較文化学科 1年 **田中 愛寿可**
- 第69回秋季神奈川県学生剣道選手権大会 女子個人戦 優勝
- 法学部 法学科 1年 **久富 陽佳梨**
- 第58回全日本基督教関係大学剣道大会 女子個人戦 準優勝

地域貢献・国際ボランティア



意外なところでもKGU生が大活躍！

学生の皆さんが取り組んでいる地域貢献・国際ボランティアの活動をピックアップ！

国際文化学部 【通訳ボランティア】



国際文化学部
英語文化学科 1年
照喜名 真汐 さん



国際文化学部
英語文化学科 1年
村山 大地 さん

実践の場で磨く英語力と深まる異文化理解

照喜名さんと村山さんは、2024年11月9日にANA ウィンドサーフィン・ワールドカップの通訳ボランティアとして活動しました。午前中はチラシ配りや会場案内を行い、午後は選手用テントでの対応を担当。選手に飲み物を提供しながら英語で会話をする機会も多く、実践的な経験を積めたといいます。特に、英語を第二言語とする選手が多く、さまざまなアクセントに触れられたことが印象的だったそうです。二人はGAP[®]生で、日頃から英語に親しんでおり、自分の語学力を試したいという思いから今回のボランティアに参加しました。英語教員を目指す照喜名さんは、「異文化理解の重要性を実感した」と話し、観光業での通訳を志す村山さんも、「実践の場を得られたことが大きな収穫だった」と振り返ります。今回の経験を通じて自信を深めた二人は、今後もボランティアや留学を通じて英語力を向上させ、将来の夢に向かって歩んでいく考えです。



※GAP(Global Awareness Program)は、英語文化学科で開かれている特別プログラムです。GAPでは、卒業に必要な単位の60%以上を英語による授業で修得できることに加えて、最大40万円の留学給付金の給付やダブル・アドバイザー制度など、様々なサポートを用意しています。

国際文化学部 【カンボジア・ソーラーランタン支援プロジェクト】

国際文化学部 比較文化学科 3年
藤田 菜生 さん

カンボジアに笑顔をお届ける灯りの支援活動

2024年2月、国際文化学部の柏崎ゼミナールは、異文化理解と東南アジアの開発問題を学ぶため、カンボジアのコンポンチュナン州を訪問しました。現地で、支援物資の電池式易ライトが短寿命でゴミ問題を引き起こしているを知り、「カンボジア・ソーラーランタン支援プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトでは、エコ仕様のソーラーランタン「CARRY THE SUN[®]」を、1つ購入すると1つが支援先に届く「Buy One Give One[®]」を展開するランドポート(株)と連携。11月2日・3日の平潟祭、11月9日のPIAフェスタでランタンを販売し、計画書作成や企業交渉、チラシやSNSによる広報活動、ランドポート(株)の販売現場で学んだ声かけによって、目標以上の63個を売り上げることができました。

プロジェクトリーダーの藤田菜生さんは、責任感や役割分担の重要性を学び、実践力が身についたといいます。ランタンは2025年2月のゼミ合宿で直接現地に届けます。「子どもたちの笑顔を見るのが楽しみです」と語ってくれました。



安否確認システム・学生生活課公式LINE・迷惑行為・SNS・違法薬物・マルチ商法・飲酒・防災

安否確認システム

スマホアプリ登録方法

本学では、地震等の災害時において、ANPICを用いて、学生・教職員の安否状況を迅速に把握します。

また、皆様の安否情報により、被害状況を把握し早期の対応を検討できます。そのため、皆様の安否報告が必要となります。

地震「全国で震度5強以上」が発生した際は、システムから自動的に安否確認のメールが送信されます。また、その他本学の判断のもと、メールを送信する場合があります。緊急時において、確実に安否確認メールが受信できるように、必ず手順に従い設定を行ってください。

STEP①.初期登録設定

下記URLまたはQRコードより、関東学院大学ANPIC初期登録サイトにアクセスしてください。

<アクセス後の画面> <関東学院大学 ANPIC初期登録サイトURL>
https://anpic-v-kanto-gakuin.jecc.jp/kanto-gakuin/regist

①ログインIDに「学籍番号」を入力し、「次へ」をタップ。
②KGUメールアドレスに、システムからメールが届くので、メールに記載されたURLにアクセスし、パスワード設定、新規メールアドレス登録を進めてください。
③パスワードの設定を行うと、再度KGUメールに確認内容と、本登録用のURLが送られますので、URLにアクセスしたら、本登録完了となります。

STEP②.専用アプリのダウンロード・ログイン

「anpic」「アンピック」「あんびっく」のいずれかで検索して専用アプリをインストール、ログインしてください。

<初回起動後の画面> <関東学院大学 ANPICサイトURL>
https://anpic-v-kanto-gakuin.jecc.jp/kanto-gakuin

ANPIC URL：関東学院大学 ANPIC 登録サイトの URL を入力するか、
○をタップし、QR コードの読み込み
ログイン ID：学籍番号
パスワード：ステップ1で設定したパスワード
ログインできれば完了となります。

STEP②以降の詳細マニュアルは、別紙「ANPIC利用マニュアル(詳細版)」をご覧ください。

迷惑行為

社会の一員として守るべき最低限のルール

自転車によるスピードの出しすぎや無灯火運転、歩行者の邪魔になる横隊歩行の苦情が近隣から寄せられています。また、車通学は禁止にも関わらず、近隣商業施設の駐車場に無断で長時間駐車をしている事例も報告されています。近隣住民の皆様迷惑をかけないように心掛けましょう。

飲酒

未成年の飲酒も、お酒の強要も絶対ダメ！

未成年者の飲酒は一歩間違えば死に至ったり、脳や肝機能の障害、依存症の危険性があります。また、成人であっても一気飲みや過度な摂取は、急性アルコール中毒による死亡リスクがあります。

本学では万が一、未成年者の飲酒が発覚した場合には退学処分も検討しています。ルールを守り、楽しいお酒との付き合い方を考えましょう。



学生生活課公式LINE

学生生活課からの大切なお知らせを配信します。学生生活でお困りのこと、相談したいことがありましたら、まずはこのLINEをチェック!!

もちろんKGUポータルへ簡易アクセスできます★

LINEの「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」、「URLアクセス」で登録してください。

URL: https://lin.ee/8QjpDg5 お問い合わせ先: 学生生活課



違法薬物

薬物所持・使用はあなたも家族も社会も破滅させます

薬物乱用は健康を害するだけでなく、人生そのものに深刻な影響を及ぼします。近年、大学生の間で薬物乱用が広がっており、SNSなどを通じた違法薬物の勧誘も増加しています。「一度だけなら大丈夫」という考えは危険で、薬物は依存や脳への悪影響を引き起こす可能性があります。

2023年12月に「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」が成立し、2024年12月12日から一部が施行されました。これにより、大麻(規定値を超える成分を含むグミやリキッドを含む)の「使用」も法律で禁止され、違反すると7年以下の懲役が科されます。また、違法薬物の「購入」「所持」「譲渡」も厳しく罰せられます。

違法薬物に関与すると、刑事罰に加え、大学から退学などの厳しい処分を受ける可能性もあります。軽い気持ちで手を出すと、将来を棒に振ることになりかねません。問題の重要性を理解し、違法薬物には絶対に関与しないようにしましょう。

SNS

安易な気持ちや間違った認識の投稿が人生を台無しに

近年ではSNSを活用してコミュニケーションを図るなど、生活に欠かせないツールとなっています。しかし、軽率な発言や行動をアップして、相手を傷つけたり、情報が悪用されて自身が犯罪者になってしまうケースもあります。トラブルに巻き込まれた場合は学生生活課、学生支援室にご相談ください。



マルチ商法

うまい話に騙され負債を抱えることも

「儲け話がある」「良い商品がある」などをネタにしたマルチ商法が本学でも発生しています。近年目立つトラブルは、高額な学習教材を購入させる商法。「高額だけど結果として儲かるから」と学生ローンを複数組み、借金だけが残るパターンです。トラブルに巻き込まれたら、迷わず学生生活課または消費生活センターにご相談ください。

最近相談が寄せられた事例

- 携帯電話の名義貸し
- 日経先物取引売買学習教材の購入について
- ネットビジネスに関するセミナーへの参加
- 株式投資に関するセミナーへの参加など

防災

万が一に備えた防災活動で地域にも貢献

2014年に本学と横須賀市追浜地域運営協議会は、地域防災に関する協定を締結しました。追浜地域は学生寮や剣道部合宿所があり、入居する学生が大規模災害発生時に地域住民の救護活動や被災情報の伝達活動、避難所運営などで支援協力を行います。また、金沢消防署・消防団と本学のラグビー部・硬式野球部・陸上競技部は「消防応援に関する覚書」を2006年より締結しています。災害が発生した際に消防・救護協力ができるよう、毎年、初期消火・救急救命研修を実施しています。

まずは自分の身を守ることが大切ですが、誰かを助けなければいけない場面に遭遇した場合は学んだことを行動に移しましょう。